

市民協働によるまちづくり
市民アンケート調査結果

平成24年6月

まちづくり協働課

「市民協働によるまちづくり市民アンケート」

調査結果について

調査の目的

市民の皆さんが、まちづくりや協働事業にご興味や協力できる意思をお持ちなのか、また、具体的にどのような分野（福祉、道路除草など）に興味をお持ちなのかなどを把握することを目的としています。

調査結果の活用方法

今後の協働によるまちづくりの推進に向けた基礎資料として、将来的に作成しようとしている「市民協働指針」や「まちづくり条例」などの基礎データにしたいと考えています。

調査対象

16歳以上の市民5,024人
うち 4000人（無作為抽出）
1024人（各小学校PTAへ依頼）

実施期間

無作為抽出（平成23年12月1日から12月30日まで：郵送回答）
各小学校宛（平成23年12月1日から12月26日まで：学校へ提出）

質問内容

○「あなた自身について」

○「協働とNPOについて」

○「コミュニティ活動について」

回答結果

回答数 1991件（回答率39.6%）

世論調査におけるサンプリング数

1万人の世論調査に必要なサンプリング数は1300人ほど、10万人で1500人ほどであり、それ以上はいくら母集団が増えてもサンプリング数は1500でよいという結果があります。

したがって、47000人弱の本市でも、1500の回答数があれば、有効なデータが得られると考えています。

そのため、5000人にアンケートを出して、そのうちの3割（1500）の回答を得ようとしてきました。

サンプリングの年齢

16歳（高校生あるいは社会人：

高校や一般社会でボランティアを行っていると予想できる。）

85歳（75歳後期高齢者以降10歳を経過した年齢：

ボランティア活動の限界と推定しました。）